



しかはま自然観察会

2025 年度

No. 1 2

2025. 12. 27

# 『 人も 自然も みんな友だち 』

For more information about the study, please contact Dr. John Smith at (555) 123-4567 or email him at [john.smith@researchinstitute.org](mailto:john.smith@researchinstitute.org).

第12回活動

## しめ縄づくり

いつもなら、小さい子どもたちも参加するのに、  
今回は、高校生のお兄さんたち3人だけだった。  
これも、時代の流れなのかな?  
とはいっても、みんなでしめ縄づくりを楽しみました。  
「何回やっても、わすれてるー！」  
「じっくり、飾り付けは、楽しいネー！」  
静かに話しながらも、手は動かし続けている。  
2025年をベ、  
新しい年に、誰しもが安心して過ごせる日常が  
到来することに願いを込めました。

1、日 時：2025年12月27日（土）12:00～14:00

## 2. 天 气：晴れ

3、場所：いきいき館大ホール

4, 参加者：総数 18 内訳 大人 11  
高齢 3  
スタッフ 4

## 5. 活動の様子

今年も、しめ縄づくりの時期が来た。

長年この活動をしていると、藁の入手から始まり、ワラ束作り・湿らせてからの藁打ち、そして飾り用のしでや迎春の札作りなどを考えると、けっこうそわそわしてしまう。

思いついた時にストックを調べたりしないと、あわててしまうのだ。

## 今年の募集には、異変が？

子どもたちの参加が少ないので。大人の参加は例年通りだったが、「あれ、なんか少ないな。子どもは何人かな？」と数えてみると、2人だった。

「えーっ、どうしたのかな？」

「大人だけで、楽しくやろう」と、当日を迎えた。

当日には、高校生の男子が3人参加してくれ、ぐっと引き締まった。子どもたちの参加は、活動を盛り上げてくれる。連れてきてくれた保護者には、感謝でいっぱいだ。

原材料を確認すると、

- ①藁・・・・・・・・宅間農園
- ②松・・・・・・・・庭から
- ③赤い実・万両・・・・庭から
- ④稻穂・・・・田んぼから
- ⑤迎春の札・・・・手作り
- ⑥しで・・・・手作り
- ⑦水引・・・・購入
- ⑧しばる紐など・・・購入

材料は、「田んぼや庭から調達できるものが沢山ある」、ということに気づく。  
購入したものって、その元をたどると大地のなかで育ったり埋もれたりしていたものだ。

この「気づき」を大切にしたいと思う。田んぼや畑・森などから、私たちはたくさんの方の「恵み」を受けていることに気づき、実像化を豊にしておきたい。

しめ縄づくりは、そんなことをも考えさせてくれるのだった。

#### 6. ふり返りの感想

○ 今日は、しめ縄をつくりました。

前回から一年、時間が経っているので、やり方を忘れているかな?と思っていたのですが、案外覚えていて驚きました。

とても楽しかったです。

しめ縄の 結び確かに 技(わざ) 伸びよ

HAL 東京 2年B

○ 今日は、初めてしめ縄をつくりました。

ふだん、年末でしか見たことがなかったのですが、作ってみると意外と難しく、貴重な体験ができました。

これから、材料があれば家でもつくろうと思いました。

むずかしい 力加減が 大切だ

高1

○ 伝統的なしめ縄をじっさいにつくれて、おもしろかったです。

きれいにつくるには、力のムラができることが大事だと学びました。

なわしめて 今年のしめを 感じてる

高1

○ 初めて、しめ縄を作りました。

しめるのが最初難しかったけど、段々慣れてきて、上手くできて良かったです。

高1

○ 稲藁を左手でなって飾り付け万両松稻穂の恵あれ

古高 利男